

食育の推進に関する施策の進捗状況

(令和 4 年度実績、令和 5 年度 of 取組み及び課題等)

令和 5 年 12 月

I 多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開

1 食育県民運動の展開と推進体制の充実

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
県食育推進計画の普及・啓発	マスメディアやスマホアプリを活用した幅広い周知	マスメディア、SNSやスマホアプリ等の活用により情報発信	マスメディア、SNSやスマホアプリ等の活用により情報発信

【取組実績】

- ・令和4年3月に第4期富山県食育推進計画を策定した。
- ・QRコードを活用した「県産品購入ポイント制度」の実施などデジタル化に対応した食育推進運動を展開した。
- ・県内各地域で実践されている食育活動の事例を、ホームページ「とやま食育ひろば」に掲載するなど、特色ある食育活動の普及啓発を図った。
- ・食材提供いただいた生産者とオンラインで結び、食材の紹介をしてもらうなど、デジタル技術を活用した「とやまの食材でつくる 親子料理教室」を実施した。



【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・動画によるレシピを作成するなどデジタル化に対応した食育推進運動を展開している。
- ・引き続き、各種団体等が開催する会議・研修会、イベント等により食育の普及・啓発に努めるとともに、県政番組での情報提供やデジタル技術、オンラインを活用した食育活動を行い、幅広い県民運動の展開を目指す。

○第8回 食育活動表彰 教育等関係者の部 受賞者

- ・農林水産大臣賞 コミュニティカフェ・カフェゴッコ（富山市）「野菜本来の美味しさを知るための料理実習と農業の大切さを学ぶ活動」

○第2回北陸農政局食育活動表彰 受賞者

- ・なめりかわ食育サポーターの会（滑川市）「キッズ料理教室」
- ・境 嘉代子（砺波市）「砺波の伝承料理継承を軸とした食育活動 ～子ども・学生・障がい者・観光客 様々な人たちへ発信～」
- ・亀谷 順子（射水市）「食生活改善推進活動」

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
とやま食育推進フォーラムの開催	1回	1回	—

【取組実績】

- ・県民を対象に食育活動を通じ、健全な食生活への理解を深めていただくため、「とやま食育推進フォーラム」を開催し、約120名が参加した。

日 時：令和4年10月6日（木）
 場 所：パレブラン高志会館
 講 演：食生活を楽しく豊かに
 講 師：総合カレッジ SEO 富山校校長
 瀬尾三礼 氏



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・食育の推進・実践に関する普及啓発を図るため、食育推進全国大会にて、県民を対象としたシンポジウム等を実施した。
- ・食育に意識の低い層にも関心を持ってもらえるような情報発信の工夫が必要。

		R3 実績	R4 実績	R5 実績
イベントにおける食育実践の普及啓発	開催回数	2回	2回	2回

【取組実績】

- ・8月31日の野菜の日に向けて、8月30日に、とやまブランドプラザで野菜摂取の促進と生活習慣病予防を目的として、子どもから高齢者までを対象にベジチェックの実施や県産野菜の直売など、食育推進イベントを開催した。
- ・県民一人ひとりが食育に関心を持ち、食育の実践につなげることを目的に「越中とやま食の王国フェスタ 2022～秋の陣～」イベントでの栄養バランスのとれた富山型食生活等の普及・啓発や栄養改善指導を行った。



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・8月29日に、とやまブランドプラザで野菜摂取・消費拡大を目的に「野菜を食べようキャンペーン」実施。ベジチェックの実施や富山スムージーラボ・富山短大食物栄養学科と共催し、スムージーの販売を行った。
- ・「越中とやま食の王国フェスタ 2023～秋の陣～」で、SATシステムによる食事診断を実施し、栄養バランスのとれた望ましい食の在り方を普及した。
- ・富山型食生活の普及には、家庭や職場、地域など様々な場所において、取組みを推進する必要がある、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら実施する。



	R3 実績	R4 実績	R5 実績
「栄養の日・栄養週間」の普及	普及啓発の推進	普及啓発の推進	普及啓発の推進

【取組実績】

- ・「栄養の日（8月4日）」、「栄養週間（8月1日～7日）」を中心に、エビデンスに基づいた正しい情報の発信により、適切な食生活を実現することを目的に、県民に対して普及啓発を行った。
- ・県ウォーキングイベントにおける栄養相談を実施した。（富山県栄養士会へ委託）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・県主催の各種イベント等において、野菜摂取の促進や減塩、栄養バランスのよい食事等についての普及啓発を行った。(富山県栄養士会へ委託)
- ・「栄養の日・栄養週間」を契機に、自身の食生活について振り返るきっかけを提供し、望ましい食生活の確立を推進する。



県主催イベント・栄養の日イベントにおける栄養相談

		R3 実績	R4 実績	R5 計画
食育推進体制の充実				
ア) 食育推進連絡会の開催		3回	4回	4回
イ) 食育指導関連教材の整備・貸与回数		74回 (教材数 83)	61回 (教材数 262)	100回
ウ) 食育に関する出前イベントの開催	実施回数	8回	2回	4回
	参加人数	26人	18人	300人

【取組実績】

- ・各厚生センターが中心となり、食にかかわる関係機関、団体等と連携し食育に関する共通理解を深めるなど、地域における食育推進体制の強化充実を図った。

具体的な事業内容

- ア) 食育推進連絡会の開催
- イ) 食育指導関連教材(フードモデル、紙芝居、パネル等)の整備と貸与
- ウ) 学校、企業、公民館等での食育に関する出前イベントの開催



食育研修会の開催



出前イベントでの食育指導



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・食育推進連絡会を中心に地域での連携をさらに推進するとともに、スーパーマーケット、飲食店、事業所等と連携した出前イベントの開催や、食育指導関連教材の紹介により、食育を通じた県民の健康づくりを推進する。

	R4 実績	R5 実績
「第18回食育推進全国大会 in とやま」の開催	大会企画案の検討 （実行委員会計3回開催） 企画委員会計3回開催	来場者 23,300人 出展者 147団体

【取組実績】

- ・大会の開催に向けて、教育関係、健康関係、生産団体等で構成する実行委員会を設置し、大会の企画案など具体的な内容の検討、ブース・イベント出展者の募集、大会の広報などを行った。

【令和5年度の取組み】

<大会概要>

- (1) 開催時期 : 令和5年6月24日(土)、25日(日)
- (2) 会場 : 富山産業展示館(テクノホール)【メイン会場】
富山調理製菓専門学校【料理教室】
- (3) 主催 : 農林水産省、富山県、富山県実行委員会
- (4) 大会テーマ : 食で心も体も幸せに とやまから広げるウェルビーイング
～未来につなげよう 幸せの基盤～
- (5) コンセプト : ①「新たな日常」に対応した食育を提案
② 健康と体づくりのための食育を学ぶ場
③ 富山の多彩な食の魅力を発信
- (6) 出展者数 : 展示・体験…121団体、飲食・販売…26団体 計147団体
イベント …15団体
- (7) 来場者数 : 23,300人(1日目8,800人、2日目14,500人)
- (8) 主な内容 :



- ・食育シンポジウム テーマ:「食とウェルビーイング」、基調講演・パネルディスカッション
- ・トークショー① テーマ:「富山の魅力とライフスタイルに合った食生活」
ゲスト: 安田美沙子氏、池田航氏(食育インストラクター)
- ・トークショー② テーマ:「ギョギョッとおいしい!魅力いっぱい富山湾」
ゲスト: さかなクン(魚や富山湾の知見がある)
- ・料理教室(地産地消、サルベージパーティなど)
- ・講演、セミナー(栄養科学など)
- ・クッキングステージ(地産地消、簡単調理、1人暮らしの料理など)
- ・地産地消弁当の販売
- ・ワークショップ(旬の野菜を知る、スポーツと栄養摂取など)
- ・富山湾アクアリウムの展示
- ・食育関係ブース出展や農林水産物等の販売・飲食
- ・農林漁業体験バスツアー 等



食育シンポジウム



ワークショップ



農林漁業体験バスツアー

II 生活のあらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進

2 家庭における食育の推進

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
毎日しっかり朝ごはん事業の推進 〔 県内全小・中・高校生及び その保護者を対象 〕	朝食摂取と栄養バランスの意識高揚と実践化の普及啓発を継続して図った。	朝食摂取と栄養バランスの意識高揚と実践化の普及啓発を継続して図った。	事業内容を工夫し継続実施をする。

【取組実績】

- 令和4年度は、朝食の役割や栄養バランスのとれた朝食摂取の習慣を身に付けることの大切さを啓発するため、「毎日しっかり朝ごはん！」のキャッチフレーズと、栄養バランスのよい朝食内容やご飯を食べている「きときと君」（元気とやまスコット）のイラストを印刷した食育ランチマットを作成して、県内の小・義務教育学校・特別支援学校の全1年生に配布し、食に関する指導の推進に努めた。年度末には、「学校給食とやまの日」や「全国学校給食週間」等を意識できるように、食育啓発カレンダー（R5.4～R6.3）を県内全小・中・義務教育・高・特別支援学校に配布した。また、毎月19日の食育の日などを通じ、学校・家庭・地域が連携を図り、食育に関する取組を推進した。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- 栄養バランスのとれた朝食を摂取する児童生徒が増加するよう学校に啓発するなど、事業内容を工夫し、継続実施する。



食育ランチマットを用いた食育啓発運動

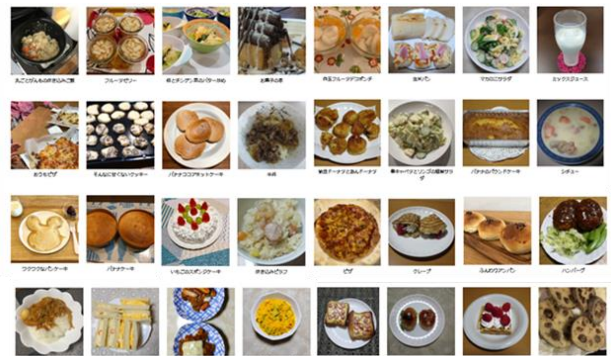


食育啓発カレンダーの上部（朝食摂取と体のはたらき）

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
親子での取組みの普及啓発	家庭教育かわら版の刊行 5万部配布	親子で作る簡単料理動画の募集キャンペーン 応募32件	—

【取組実績】

- 親子のふれあいやコミュニケーションを図るとともに、食へ関心を高めるため、「親子で作る簡単料理動画」を募集し、その動画をHPに掲載するなど、親子参加型の取組を実施した。



親子で一緒に簡単料理動画募集キャンペーン(R4.12～R5.3)（「親子 de 一緒に！」HP サイトで掲載）

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
とやま子育て応援団制度の推進 ・ 応援団登録店舗数	2,204 店舗	2,082 店舗	登録推進

【取組実績】

- ・ 子育て家庭のふれあいやコミュニケーションを深める機会を提供する「とやま子育て応援団」を推進し、「家族そろっての食事」の普及・啓発を図った。

〔実施時期：主に、毎月の「とやまふれあいウィーク」（「とやま県民家庭の日」（毎月第3日曜日）から始まる1週間）の期間中〕

【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・ とやま子育て応援団のさらなる利用促進を図るため、PRを強化する。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
富山型食生活モデルメニューの 確立・普及	インターネットやイベント等でのPR 食育リーダーの派遣	インターネットやイベント等でのPR 食育リーダーの派遣	インターネットやイベント等でのPR 食育リーダーの派遣

【取組実績】

- ・ 旬の地場産食材や伝統的な食文化を活かした栄養バランスの良い「富山型食生活」や希薄になりつつある郷土料理等の食文化の伝承を図るため、食育リーダー等による普及など、多くの県民への普及を図った。



【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・ レシピ動画を作成し、「富山型食生活」の実践を促す「富山型食生活ハッシュタグキャンペーン」を実施する。
- ・ 引き続き、家族参加の料理教室の開催、食育リーダーによる講習会の開催のほか、四季折々の地場産食材を使った栄養バランスの良い「富山型食生活」の普及・PR活動を展開する。

3 学校・保育所等における食育の推進

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
栄養教諭を中核とした「望ましい食習慣づくり」の推進	栄養教諭配置数 53人	栄養教諭配置数 57人	栄養教諭配置数 58人

【取組実績】

- ・ 令和4年度は、栄養教諭が配置されている県内の各学校において、教科や特別活動を中心とした食に関する指導の充実や、地域・家庭と連携し、地産地消の啓発や食育の推進を行った。
- ・ 栄養教諭の配置校では、各校の児童生徒の実態や発達の段階に合わせて、計画的・継続的に食に関する指導を実施している。食育動画の作成や食育だよりの発行、学校ホームページを活用した食に関する情報発信等、食育の推進についてPTAや地域への啓発を図った。
- ・ 食材を選ぶことの大切さや感謝の心を育むことができるよう、多くの学



栄養教諭による授業風景

校で地場産の食材を使った献立提供や生産者との交流活動が行われた。

○「学校給食とやまの日」の取組（朝日町）

- ・「富山県食育推進月間」に合わせて11月中の一日または数日を「学校給食とやまの日」とし、地元の農作物や県内食材を積極的に使用した学校給食を実施している。
- ・県内の各小中学校では、市町村、学校給食関係者が連携し、地域の食材を多く取り入れた、特色ある献立を工夫している。
- ・朝日町の「学校給食とやまの日」には、朝日町産の富富富、ハトムギ、人参を使った人参ピラフの他に、ささみカツ、朝日町産の大豆入り海藻サラダ、ねぎと生姜のスープが提供された。学校給食を通して、生産者の工夫や努力について理解を深め、地元の食材を身近に感じ、地域への愛着を育む機会となっている。



朝日町の献立



○食に関する体験活動の充実

- ・次の世代を担う子供が興味・関心をもって地産地消や地域の食文化を理解し、自然の恩恵や生産者等食に携わる人々への感謝の心を育むことができるよう、農作物の栽培や収穫、生産者との交流、地場産食材の調理等、食に関する体験活動を取り入れている。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・令和5年4月には、栄養教諭58名が県内全市町村に配置（前年度より1名増）されており、家庭や地域と連携しながら、一層の食育推進に努める。
- ・栄養教諭の配置校では、農林水産業や伝統料理など地域の食文化に対する児童・生徒の理解を深めるため、地域の食文化の特徴を活かした「食材の生産段階から望ましい食生活の実践」までの一貫した学習を地域の農林水産業者や食育関係者などと連携して推進する。

		R3 実績	R4 実績	R5 計画
食育リーダーの養成・派遣	登録者数	55人・団体	55人・団体	55人・団体
	派遣回数	28回	38回	70回

【取組実績】

- ・食育の推進を図るため、管理栄養士、医師、歯科衛生士、調理師、食生活改善推進員、農業生産者など「食」に関する知識を持つ方々を「富山県食育リーダー」として養成・登録し、関係機関、団体等が主催する食育講演等に派遣した（富山県栄養士会へ委託）。



食育リーダーによる食に関する研修会



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・様々な分野で活躍する食育リーダーのさらなる養成・登録を推進するとともに、食育リーダーの活用の周知を図り、効果的な派遣を行う。
- ・食育リーダーのさらなる資質向上を図るための研修会を引き続き実施する。

4 地域・職場における食育の推進

		R3 実績	R4 実績	R5 計画
若者世代に対する食育講座と調理講習会の開催	開催回数	5回	6回	6回
	参加人数	143人	78人	100人

【取組実績】

- ・令和2年度に作成した「若い世代の食育実践ガイド」を普及・啓発活動に活用し、朝食の欠食、外食やインスタント食品への依存、女性のダイエット志向など、特に子育て世代や若い世代を対象に、栄養バランスのとれた健康的な食習慣を学ぶ研修を開催した。
- ・高校生や子育て世代、とやま農業未来カレッジ生と富山短期大学の学生など若い世代を対象とした生活習慣病予防のための食育講座や地場産食材を活用した調理講習会を開催。



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・引き続き、中・高校生、大学生をはじめ若い会社員、子育て世代の親など若者世代に対して食育を普及・啓発するため、「若い世代の食育実践ガイド」を活用した研修や調理講習会を開催するとともに、イベントに講師を派遣し、指導相談等を行う。
- ・若者が取り組む食育調理体験やセミナーなどの食育活動に支援を行う。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
「野菜をもう一皿！食べようキャンペーン」の実施（協力店舗数）	581店舗	661店舗	663店舗

【取組実績】

- ・「野菜の日（8月31日）」に合わせて、野菜を販売している小売店（スーパー、コンビニ、八百屋等）を対象に、家庭での野菜摂取を促進するためのキャンペーンを実施するとともに、野菜を多く使用したメニューを提供する飲食店等と連携した野菜摂取促進キャンペーンを実施した。
- ・また、野菜充足量測定器を活用し、特定保健指導該当者を対象としたセミナーを開催した。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・「野菜の日」を契機としたキャンペーンを実施し、県民の野菜摂取の意識の向上を図った。
- ・外食・中食においてバランスの良い食事が選択できる食環境整備を推進する。



店舗でのキャンペーン実施



キャンペーンチラシ



セミナーチラシ

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
「健康寿命日本一応援店」の登録	273 店舗	267 店舗	登録促進

【取組実績】

- ・野菜たっぷり、減塩、シニア向けのメニューを提供する飲食店等を「健康寿命日本一応援店」として登録し、県民への周知を図った。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・県内飲食店等に「健康寿命日本一応援店」の登録を働きかけ、登録の拡大を図るとともに、SNS 広告や情報誌への掲載等を行い、県民への周知を図る。
- ・外食・中食においてバランスの良い食事が選択できる食環境整備を推進する。



健康寿命日本一応援店
ステッカー

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
フレイル予防に向けた食生活改善普及啓発事業	各種講習会の開催 食改協 延 200 名参加 栄養士会 延 167 名参加	各種講習会の開催 食改協 延 206 名参加 栄養士会 延 103 名参加	各種講習会の開催及び普及啓発

【取組実績】

- ・高齢者の低栄養予防について普及啓発するため、地域のリーダーの育成を図った。(富山県食生活改善推進連絡協議会へ委託)
- ・高齢者の取り巻く食環境整備につなげるため、配食事業者を通じて健康情報に関する媒体提供を行うとともに、資質向上のための情報提供を行った。(富山県栄養士会へ委託)
- ・高齢者の食支援を担う人材育成のため、研修会を開催した。(富山県栄養士会へ委託)

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・引き続き、関係団体と連携しながら、高齢者の食支援を担う人材の育成を図るとともに、フレイル予防に関する媒体作成と情報提供を実施する。



		R3 実績	R4 実績	R5 計画
食生活改善クッキングの開催	開催回数	31 回	34 回	食生活改善クッキングの実施
	参加人数	802 人	911 人	

【取組実績】

- ・健康寿命延伸の最も基本となる、望ましい生活習慣の確立を推進するため、富山県健康増進計画（第2次）に基づき、食生活改善のポイントや栄養バランスのよい料理を普及する「元気とやまわくわくクッキング」を実施した。（富山県食生活改善推進連絡協議会へ委託）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・引き続き主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよい食事の普及啓発に努める。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
こども食堂の設置支援 ・こども食堂の設置数 ※県子どもほっとサロンネットワークに加入したこども食堂の数	26 箇所	38 箇所	設置促進

【取組実績】

- ・こども食堂の立ち上げ経費の助成、食品衛生指導や食事メニューの考案やこども食堂開設予定者向けの研修会の開催などを行った。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・こども食堂が地域において広がるよう、引き続き、市町村等と連携し、こども食堂の立ち上げに対して支援するほか、こども食堂への「学習支援ボランティア」の派遣や、運営の厳しいこども食堂の活動維持のための助成などに取り組む。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
災害時の食の備えに関する普及	普及啓発の推進 （地域における講習会の開催 年14回）	普及啓発の推進 （地域における講習会の開催 年9回）	普及啓発の推進

【取組実績】

- ・災害時の食の備えを普及啓発するため、各地域において住民対象の講習会を開催するとともに、糖尿病やアレルギーを持つ方など要配慮者に向けた食の備えに関するリーフレットを作成した。（富山県栄養士会へ委託）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・市町村等関係機関へのリーフレット配布などにより、災害時の食の備えについての配布普及啓発に努める。



災害時の食の備えに関する小冊子

Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進

5 地産地消や食の循環、環境に配慮した食育の推進

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
直売所及びインショップにおける農産物販売額	3,828 百万円	3,937 百万円	4,500 百万円

【取組実績】

- ・消費者が生産者・産地の「顔が見える」県産品に触れることができる機会をより多く確保するため、県産品購入ポイント制度を実施するとともに、越中とやま食の王国ホームページなどにより、直売所やインショップでの農産物販売のPR等を支援した。



	平成 14 年度	平成 21 年度	令和 4 年度
店舗数	75 店舗 →	165 店舗 →	188 店舗
販売金額	387 百万円 →	1,939 百万円 →	3,937 百万円

【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家庭内での食の需要が高まり、直売所等の販売額が増加するなど、地場食材への関心が高まっており、農林水産業へのより一層の理解増進に向けて取組みを推進する。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
地産地消県民運動の推進			
ア) 食ベトクアプリ登録者数	1,410	5,600	6,000
イ) 県産品購入ポイント制度	65 日間	75 日間	76 日間

【取組実績】

- ・積極的に地産地消に取り組む企業や団体、個人を応援団として登録し、県民ぐるみの地産地消運動を展開した。
- ・県民に県産品を優先的に選択してもらおう動機付けとなるよう「県産品購入ポイント制度」を実施したところ、18,683 件の応募があった。(R4 より応募箱設置の廃止、デジタル応募の導入)
- ・子どもと地域住民が一緒に行う農林漁業体験など、地元食材の魅力の再発見につなげる活動を支援した。

「県産品購入ポイント制度」

応募期間：令和4年9月16日～11月30日

実施店舗：食品スーパーマーケット・百貨店、青果店、加工食品製造直売所など

実施内容：米・青果・鮮魚・精肉・加工食品などに貼り付けてある県産を示す「地産地消シール」や「価格ラベル」を10枚集めて特産品のプレゼント企画に応募（デジタルポイントを貯めて応募、写真を撮ってアプリで応募、郵送での応募）



県産品に貼られる地産地消シール

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・「県産品購入ポイント制度」については、デジタルツールを活用し、若者を含めた幅広い世代の消費者へのさらなる浸透に努める。
- ・食を生み出す農林水産業への理解を深めるため、地域で行う農林漁業体験などの活動を引き続き支援する。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
学校給食における地場産品の活用促進 コーディネーターの取組み（野菜等）	モデル4市町村 で実施	県内全市町村を 対象に実施 (13市町村参加)	県内全市町村を 対象に実施

【取組実績】

- ・青果市場をコーディネーターとして、県産食材の生育状況や取扱量等の情報提供や学校給食関係者による産地視察、県産野菜の生産から流通、学校給食に使われるまでを紹介する動画の作成など、学校給食での県産食材の活用拡大を促進するための取組みを行った。
- ・また、米の多様な利用について理解を深めてもらうため、学校給食に対する米粉パンの供給に支援した。県下の全小・中学校では、県産米による米飯給食を週平均3.9回実施した。
- ・県下の小・中学校等で、「富富富」による米飯給食を実施した。



「県産食材活用拡大プロジェクト事業」産地視察の様子



児童に向けた動画の作成

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・学校給食における県産食材の活用については、青果市場のコーディネート力を活かして、産地と学校給食現場の連携強化を図り、流通ルートの検討等市町村域を越えた県産食材の利用を推進する。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
女性起業組織等への活動支援			
女性の起業件数(うち販売額1,000万円以上)	191件(40件)	193件(42件)	200件(45件)

【取組実績】

※括弧内は販売額1,000万円以上起業件数

- ・地場産品等の生産や加工に意欲的に取り組む農村女性起業組織のリーダーや起業化を志す農村女性を対象に、活動に必要な衛生管理やマーケティング、加工技術など座学と実習によるスキルアップ講座を開催した。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・「越中とやま食の王国秋フェスタ 2023」では、農村女性が事業を活用し、地場の食材を用いて開発した新商品等を紹介した。また、農村女性起業ネットワーク活動として、事業者の施設等を活用した消費者PRイベント「なやマルシェ」を開催するなど、SNS等も利用し、食や農林漁業への理解を深める活動を行った。



「越中とやま食の王国秋フェスタ」
女性起業の開発商品等についてPR



農村女性起業ネットワークによるPR活動「畑パーティとやま」
による消費者PRイベント“なやマルシェ”
9月：富山駅、11月：NOROSHI FARM（魚津市）



- ・地域農業を活性化するため、女性のパワーを活かした直売や農産加工等の意欲的な起業活動を支援するとともにネットワーク活動「畑パーティとやま」など消費者PRイベントを通じ食の魅力を発信する。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催	1回	2回	2回

【取組実績】

- ・「越中とやま食の王国 秋フェスタ 2022」は、「つながる、ひろがる、富山の美味しい大集合」をテーマに、令和4年10月29日（土）・10月30日（日）、富山産業展示館テクノホール（富山市）で新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し開催。富山の海・野・山の幸を一堂に集め、旬の県内野菜をマルシェスタイルで販売する「王国旬菜市场」、県内各市町村の特産品の販売、商品紹介や料理実演のYouTubeライブ配信、「富富富」のお寿司販売など多彩な催しを繰り広げ、富山の食の魅力をアピールした（来場者数：約19,000人）。
- ・「越中とやま食の王国 冬フェスタ 2022」は、県内11店舗において、食の匠（創作の匠）が腕をふるう越中料理と県内酒造の地酒が楽しめるフェアを開催。（参加者数：261人）



（秋フェスタ 富山テクノホール）



（冬フェスタ キックオフレセプションの様子）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・引き続き、「越中とやま食の王国フェスタ」の「秋フェスタ」及び「冬フェスタ」を開催し、「食のとやまブランド」の県内外への発信を図る。
「秋フェスタ」：収穫の恵みに感謝しつつ、生産活動等の成果や食の魅力を県内外に発信
「冬フェスタ」：「越中料理」等の魅力を県内外に発信

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
子どもたちに対する魚食の普及			
・ 高校、短大生向けのセミナー開催	4 回	4 回	4 回
・ 小学生向け副読本「ふるさと富山湾」配布	8,300 部	8,000 部	8,000 部
・ 学校給食食材提供（県産魚学校給食普及事業）	27.0 万食	32.0 万食	40.0 万食

【取組実績】

- ・ 県内の高校生・短大生等（4回 計 131 名）を対象に魚食の大切さを教える「さかなの栄養に関する知識の習得」及び「おさかなの捌き方の実習」のセミナーを開催した。
- ・ 富山湾で獲れる魚や水産業の仕組み及び漁場環境を保つための取組みについて理解を深めてもらうことを目的に「ふるさと富山湾～ふしぎの海のおさかな読本～」を 8,000 部作成し、社会科の副読本として活用してもらうため、県内小学校の 5 年生及び担当教諭に配布した。
- ・ 富山湾のおいしい魚を知ってもらい、富山湾産魚の消費拡大を図るため、富山県学校給食会等と連携し、県下小学校、中学校等にフクラギの切身等を給食食材として提供した。

【令和 5 年度 of 取組み、課題及び対応】

- ・ 県産魚を知り県産魚に親んでもらうため、引き続きセミナーの開催や副読本の配布、学校給食への食材提供に取り組む。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
農林漁業等体験者数	30,816 人	39,206 人	74,200 人(R8)
農業団体による農作業体験の実施	1,519 人	1,723 人	1,500 人

【取組実績】

- ・ 子どもを含む幅広い世代が生産者等の努力や食に関する感謝の心を育むことができるよう、農作物の栽培や収穫、地場産食材の調理等、農林漁業体験の機会を提供した。
- ・ 農業団体が実施する食農教育活動を支援し、県内各地で農作業体験や学習会、伝承料理教室などを実施した。



【令和 5 年度 of 取組み、課題及び対応】

- ・ 引き続き、農作物の栽培や収穫、地場産食材の調理等、農林漁業体験の機会の充実に努める。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
食品ロス削減のための普及啓発	ポスター・HP 等での情報発信	ポスター・HP 等での情報発信	ポスター・HP 等での情報発信

【取組実績】

- ・ ハンドブックやチラシの配布、HP での情報発信等により、消費者の食品ロス削減に対する理解を深めた。
- ・ 県内小売店の協力のもと、期限間近商品の優先購入促進キャンペーンを行い、消費・賞味期限の近接した商品を優先的に購入することが食品ロス削減につながることを消費者に広く周知した。

- ・高校の探究授業において食品ロス削減の取組みに関する授業を行い、若い世代に食品ロス削減について興味・関心をもってもらう機会とした。



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・ハンドブックやチラシの配布、HPでの情報発信等により、消費者の食品ロス削減に対する理解を深める。
- ・県内小売店の協力のもと、引き続き、期限間近商品の優先購入促進キャンペーンを行い、消費・賞味期限の近接した商品を優先的に購入することが食品ロス削減につながることを消費者に広く周知する。
- ・県民の食品ロス削減への認知度・実践度は高まっており、一層の取組みの実践につながるよう、幅広い世代への普及啓発を行う。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
「食べきり 3015 運動」協力店及び「食べきりサイズメニュー」提供店の募集・登録			
「食べきり 3015 運動」協力店	160店	90店	登録推進
「食べきりサイズメニュー」提供店	139店	122店	〃

【取組実績】

＜「食べきり 3015 運動」協力店の募集・登録＞

- ・宴会等での食べ残しを減らすため、県内全域の飲食店等に協力店としての登録を働きかけ、店舗での啓発物の設置や食べ残しゼロを呼びかけるチラシの配布に協力してもらい、食べきり 3015 運動の推進を図った。

（啓発物：三角柱 POP、ポスター、チラシ
協力店：県内ホテル・旅館、居酒屋、仕出し屋等）



＜「食べきりサイズメニュー」導入店の募集・登録＞

- ・飲食店での食べきりを推進するため、小盛りメニューの導入を飲食店に働きかけ、全県的に小盛りメニューの導入促進を図った。

（啓発物：テント型 POP、ポスター、チラシ
協力店：レストラン等県内飲食店）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・県内飲食店等に「食べきり 3015 運動」協力店及び「食べきりサイズメニュー」提供店の登録を働きかけるとともに、フリーペーパーを活用し県民へ「食べきり 3015 運動」の周知に努める。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
「とやま環境チャレンジ 10 事業」において食品ロス削減に取り組んだ児童の数	70 校 3,543 人	63 校 3,038 人	68 校 2,854 人

【取組実績】

- ・10歳の児童が家族とともに10項目の地球温暖化対策に取り組む「とやま環境チャレンジ 10 事業」の学習内容に食品ロスの削減などを追加した「とやま環境未来チャレンジ事業」を実施した。

- ・家庭で余っている食品を福祉団体等に寄付するフードドライブの定着・拡大を図るため、実施団体への資器材の貸出しや、食品の回収ボックスを常設する県内スーパーと福祉団体等とのマッチング支援、高校生を対象とした出前講座等を実施した。

(フードドライブ実施件数 74 件 (56 団体))



フードドライブの常設回収ボックス

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・引き続き、「とやま環境未来チャレンジ事業」の実施や、フードドライブ実施団体への支援等により、家庭における食品ロス削減の取組みの一層の促進を図る。

6 魅力ある食文化の継承・創造

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
「とやまの食」を普及する人材「とやま食の匠」の認定（推薦に基づき選考）	5個人・団体	8個人・団体	5個人・団体

【取組実績】

- ・食のとやまブランドを支える人材を育成するとともに、とやまの食の魅力を県内外に発信するため、「とやま食の匠」（特産の匠・伝承の匠・創作の匠の3部門）として、令和4年に8個人・団体を新たに認定した。

○R5年12月現在の認定数

特産の匠：	77個人・団体
伝承の匠：	58個人・団体
創作の匠：	50個人
計	185個人・団体

- ・学校、企業、団体等からの依頼に応じて、「とやま食の匠」を講師として派遣した（令和4年度の派遣実績 計2回：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、派遣要請が減少）。

【課題及び対応】

- ・「とやま食の匠」の「伝承の匠」に、土地の歴史、伝承料理のいわれ等を説明してもらいながら、伝承料理を調理してもらい、若い世代をターゲットにしたYouTube動画を作成。
- ・伝承の匠による伝統料理ミニ講座や、伝統料理作り教室を実施。（食育推進全国大会、フェスタ）

		R3 実績	R4 実績	R5 計画
三世代ふれあいクッキング セミナーの開催	開催回数	58回	77回	72回
	参加人数	2,090人	2,158人	2,000人
	〔 内訳 子供 親 祖父母	933人	881人	800人
		558人	568人	600人
	559人	709人	600人	

【取組実績】

- ・食を通じたふれあいの輪を地域に広げ三世代の交流を推進する場を提供するため、「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催した（富山県食生活改善推進連絡協議会へ委託）。



【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・引き続き、三世代のふれあいを通じて食べものを大切にする心などを伝えるとともに、各世代が健康づくりのための食事について学び、幼い頃から望ましい生活習慣を身につけられるよう、セミナーの一層の推進を図る。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
越中料理のブランド化の推進	「越中料理」のPR	「越中料理」のPR	「越中料理」のPR

【取組実績】（再掲）

- ・「越中とやま食の王国 秋フェスタ 2022」は、「つながる、ひろがる、富山の美味しい大集合」をテーマに、令和4年10月29日（土）・10月30日（日）、富山産業展示館テクノホール（富山市）で新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し開催。富山の海・野・山の幸を一堂に集め、旬の県内野菜をマルシェスタイルで販売する「王国旬菜市場」、県内各市町村の特産品の販売、商品紹介や料理実演のYouTube ライブ配信、「富富富」のお寿司販売など多彩な催しを繰り広げ、富山の食の魅力アピールした（来場者数：約19,000人）。
- ・「越中とやま食の王国 冬フェスタ 2022」は、県内11店舗において、食の匠（創作の匠）が腕をふるう越中料理と県内酒造の地酒が楽しめるフェアを開催。（参加者数：261人）



（秋フェスタ 富山テクノホール）



（冬フェスタ キックオフレセプションの様子）

【令和5年度取組み、課題及び対応】

- ・「越中とやま食の王国フェスタ」や「越中とやま食の王国」ホームページ等で、普及・PRを図る。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
富山県ふるさと認証食品（Eマーク食品）の認証	新規認証 13	新規認証 7	新規認証 10 程度

【取組実績】

- ・各種イベントやホームページ等で制度の周知を図った。

＜Eマーク商品の認証要件＞



主な原材料が富山県産又は富山県内の伝統的技術・技法で製造されたもの

＜R5.3月時点の累計認証数＞
42 品目 375 商品（累計）

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・地産地消の推進や6次産業化などの新たな取組みにより、認証商品の拡大を図っていく。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
新たな「とやま名物」商品開発			
6次産業化とやまの魅力発信事業	4 件	5 件	5 件
「富のおもちかえり」商品開発	5 商品	5 商品	5 商品程度

【取組実績】

○6次産業化とやまの魅力発信事業

- ・農林漁業者が自ら行う新商品・新サービスの開発や販路開拓（6次産業化）を行う県単独の支援制度により、R4は5件の新規取組みを支援した。

＜令和4年度開発商品＞



観光農園カフェメニュー



シビエスライス肉（試作）

○「富のおもちかえり」商品開発

- ・富山を訪れた方が思わず手にとり、持ち帰りたくなるような県産農林水産品を使った魅力あるお土産「富のおもちかえり」32商品について、セット販売の実証やPRを実施した。また、商品のブラッシュアップを支援し、令和4年度に5商品を新たに追加した。

＜富のおもちかえり商品＞



押し寿司、ます寿司、オイル漬蒲鉾、漬物、ローストビーフ、黒とろろ昆布ふりかけ、ピクルス、魚介や果実のジャーキー、スイーツ等



（令和4年度追加商品）
ふなくらのそば、清流素麺、ホタルイカの沖漬け、燻製、白えび素干し

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・ 6次産業化商品については、とやま6次産業化チャレンジセミナーや農山漁村発イノベーション（6次産業化）サポートセンターなどにより商品の魅力発信や経営戦略の策定等を支援する。
- ・ 「富のおもちかえり」商品については、商品力や認知度向上を図りつつ、ラインナップの拡充等に取り組む。

7 食の安全確保の推進

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
食品安全に関するイベントへの参加人数	695 人	1,098 人	3,000 人

【取組実績】

- ・ 食品安全に関して、「食中毒」・「食品安全の世界の流れ・管理規格をテーマに、食品安全フォーラムを開催した。

「食品安全フォーラム in とやま

～食品の安全性について考えよう！食の安全を守る取組みと基礎知識～

(令和4年11月2日、パレブラン高志会館カルチャーホール、参加者115名)

- ・ 講演 「食品小売業における食の安全を守る取組み」
講師：池田 和男 氏 (アルビス株式会社 代表取締役社長)
- ・ 講演 「安全な食品を選ぶための基礎知識と最新情報」
講師：竹内 弘幸 氏 富山短期大学食物栄養学科 教授



- ・ 県の取組みや食品安全に関する知識を県民に正しく理解してもらうため、多くの来場者が見込める「越中とやま食の王国フェスタ 2022～秋の陣～」に食品安全に関するブースを出展した。

「食の王国フェスタ」に食品安全関連ブースの出展
(令和4年10月29、30日開催、テクノホール、参加者983名)

- ・ パネル展示(食品安全に関すること、豚熱に関すること)
- ・ 啓発資料の設置、配布
- ・ アンケートの実施 ほか



【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・ 食品安全フォーラムの開催及びイベントへの食品安全関連ブースの出展等により、リスクコミュニケーションの強化を図る。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
とやま食の安全・安心情報ホームページの運営 (アクセス年間件数)	22,310 件	18,136 件	—

【取組実績】

- ・ 県内の食中毒発生や食品安全フォーラム等の開催内容など、適時的確な情報提供に努めるとともに、より見やすく分かりやすいホームページとするため、関係情報の整理等を行った。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・適時的確な情報提供、内容の更新に努め、必要な情報がよりスムーズに得られるよう工夫するとともに、ホームページの認知度向上に努める。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
③食品表示講習会の開催	6回	10回	4回

【取組実績】

- ・関係団体へのパンフレット等の配布やホームページで情報提供を行うとともに、食品関連事業者を対象とした食品表示講習会（4回）の開催や業界団体、農産物直売所等を対象とした研修会への講師派遣により、食品表示法の内容など、適正な食品表示の周知に努めた。



食品表示講習会の様子

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・食品表示に関し、関係団体に対し情報提供を行うとともに、講習会や研修会を通じて制度の周知に努める。

	R3 実績	R4 実績	R5 計画
食品表示ウォッチャー調査店舗数	1,177 店舗	1,084 店舗	1,320 店舗
食品表示ウォッチャーの食品表示実態調査等における適正な店舗の割合	98.1%	97.2%	100%

【取組実績】

- ・県内小売店における食品表示の実態を把握するため、消費者からなる「食品表示ウォッチャー」（30名を委嘱）を配置し、ウォッチャーに対する研修会を4回実施するとともに、日常の買い物の中で小売店の食品表示の実態を調査した。
- ・また、不適正な表示が認められた店舗については、担当職員が立入調査を行い、適正な表示を指導した。

【令和5年度の取組み、課題及び対応】

- ・食品表示ウォッチャーによる調査を通じた監視・指導体制の強化に努める。